

新年のご挨拶

北海道コンピュータ関連産業健康保険組合

理事長 中村 真規



新年明けましておめでとうございます。

皆さまにおかれましては、お健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

厚生労働省が昨年9月に発表した平成29年度の概算医療費が前年度比2.3%増の42.2兆円となり、過去最高を更新したと発表しました。医療費が増えた理由は、高齢化と医療の高度化によるもので、同省はこの傾向は当面続くと見通しています。

当健康保険組合の、平成29年度は1人当たり医療費が当初見込みよりも減少し、被保険者数も増加したため黒字決算でしたが、医療費総体としては前年度より増えており保険給付費(医療費・各種現金給付等)は17億9,600万円で支出全体の48.4%を占めております。また、高齢者医療制度への拠出金は16億1,500万円で支出全体の43.5%となり今後も財政的負担が重くなることが予想されます。

この様な中、昨年11月末の加入状況は事業所数179社、被保険者数約9,650人、ご家族を含めると加入者が15,046人となりました。

今後も、より実効性のある保健事業につながるよう、当健康保険組合と加入事業所が連携・協力しそれぞれの立場からみなさまの健康づくりに取り組む「コラボヘルス」を進めてまいりますので、皆さまには、“健診は必ず受ける”等、積極的に事業にご参加いただき、本年も健やかにお過ごしいただきたいと思っております。

共済会では、家庭常備薬や健康飲料の斡旋、海外旅行や契約保養所及びJTBの補助、劇団四季ミュージカル鑑賞、北海道日本ハムファイターズ等のスポーツ観戦、健康センター日帰り温泉の助成も大変ご好評をいただいております。こちらも皆さまのご要望を取り入れながら事業を実施してまいりますので、今後ともご支援ご協力をよろしくお願いいたします。

本年も皆さま方のご健勝とご多幸を心よりお祈り申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。